

ようこそ

今年の7月19日は私が古稀を迎えた日。図らずもこの日はヒマラヤトレッキング出発の日と重なり、古稀を祝うにふさわしい日となりました。

この日から8月12日までの25日間、ネパールの中ほどジョムソンを中心に、ダウラギリ(8167m)の東山麓をトレッキングしてきました。我々トレッキング客は4人。その他にシェルパ4人、キッチン関係4人、それに今年の荷物運びは6頭のロバとロバ使い1人。計9人とロバに支えられての旅でした。

今年は4500mほどの高さ3か所に登りました。昨年のゴキョ・ピーク(5360m)の高さには及びませんでしたがそれぞれに特徴があり、最初のムクチナート方面は荒涼とした禿山で、雨の多い日本では想像もできない光景でした。2つ目のダウラギリ北麓では、山の民がヤクの生き血を飲む場面に遭遇し、3つ目のダウラギリ東麓では今にも崩れ落ちそうな巨大な氷河を目のあたりにしました。

我々のトレッキングは植物観察が目的であり、ヒマラヤの青いケシをはじめ色鮮やかで珍しい高山植物をたくさん見てきました。また、ヒマラヤは長大な山脈で、8000mを越す山々、砂漠のような山々、色鮮やかなお花畑、ツバキ繁る照葉樹林など、場所によりその様子が大きく異なります。山で暮らす人々の生活は私たちの目に物珍しく映り、興味尽きません。今回の展示会では、美しい花や大自然、人々の暮らしなどに簡単な解説を付けて展示しました。過去のトレッキングの写真もいくつか併せて展示してあります。

ヒマラヤの夏は雨季で、観光はシーズンオフです。しかし、花を見るには夏でなければならず、雨は覚悟の上です。晴れた日があれば儲けもの。雨の中で写真撮影という場面もたびたびあり、展示した写真にも雨にぬれたものがいくつかもあります。

66歳より始めたヒマラヤの旅は今回で5回目、写真展も4回目となりました。元気で山に登れる健康に感謝です。でも同行の男性2人は72歳と74歳。この年長者からさらなる元気をいただいている、これからも活動を続けていきたいと思っています。

今回の写真展には同行の小林さんに今まで同様ご協力いただき、素敵な写真とビデオを用意していただきました。では、ごゆっくりご覧ください。

源原 重行